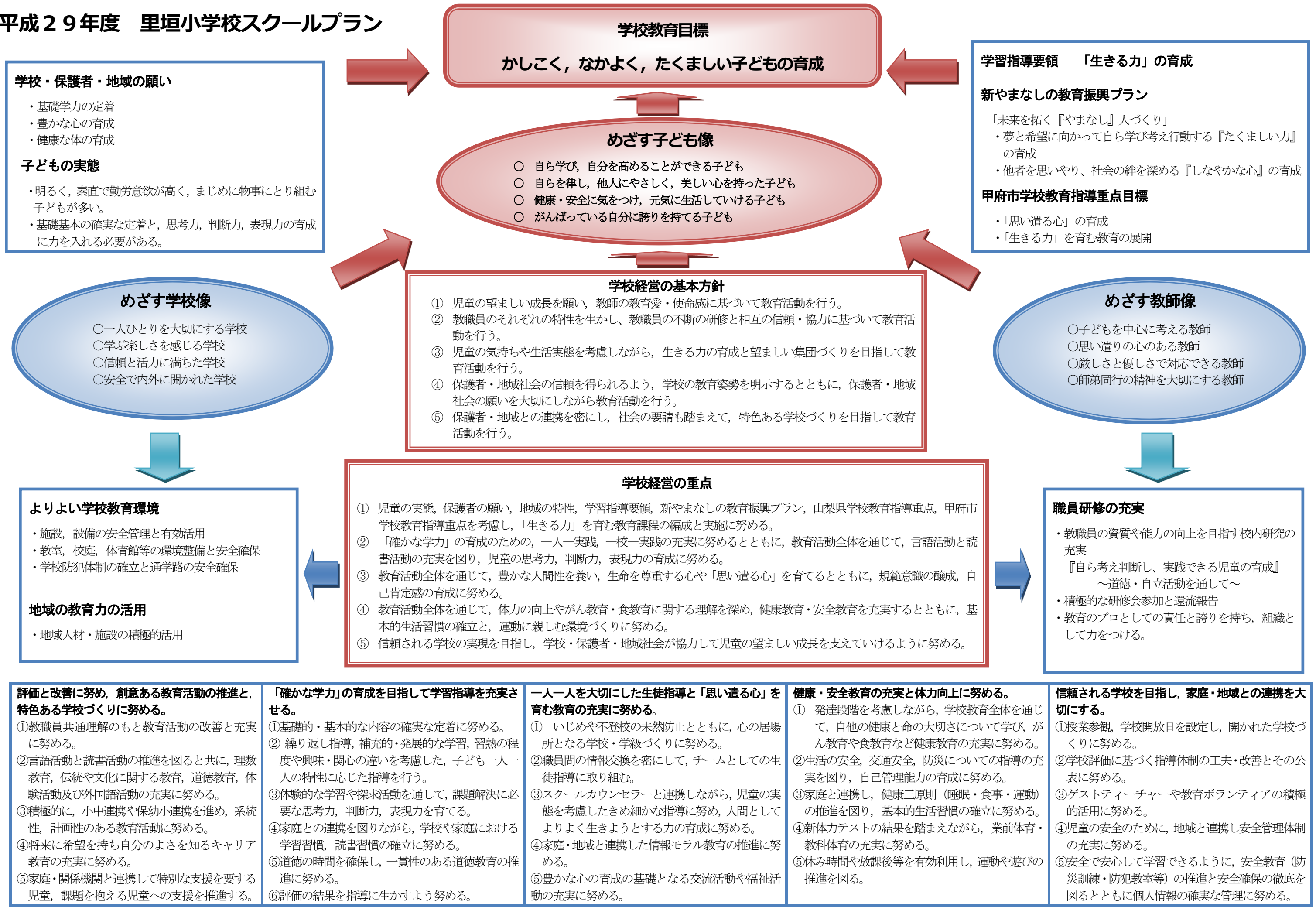


平成29年度 里垣小学校スクールプラン



学校教育目標
かしこく、なかよく、たくましい子どもの育成

めざす子ども像

- 自ら学び、自分を高めることができる子ども
- 自らを律し、他人にやさしく、美しい心を持った子ども
- 健康・安全に気をつけ、元気に生活していける子ども
- がんばっている自分に誇りを持てる子ども

学校・保護者・地域の願い

- ・基礎学力の定着
- ・豊かな心の育成
- ・健康な体の育成

子どもの実態

- ・明るく、素直で勤労意欲が高く、まじめに物事にとり組む子どもが多い。
- ・基礎基本の確実な定着と、思考力、判断力、表現力の育成に力を入れる必要がある。

学習指導要領 「生きる力」の育成

新やまなしの教育振興プラン

「未来を拓く『やまなし』人づくり」

- ・夢と希望に向かって自ら学び考え行動する『たくましい力』の育成
- ・他者を思いやり、社会の絆を深める『しなやかな心』の育成

甲府市学校教育指導重点目標

- ・「思い遣る心」の育成
- ・「生きる力」を育む教育の展開

学校経営の基本方針

- ① 児童の望ましい成長を願い、教師の教育愛・使命感に基づいて教育活動を行う。
- ② 教職員のそれぞれの特性を生かし、教職員の不断の研修と相互の信頼・協力に基づいて教育活動を行う。
- ③ 児童の気持ちや生活実態を考慮しながら、生きる力の育成と望ましい集団づくりを目指して教育活動を行う。
- ④ 保護者・地域社会の信頼を得られるよう、学校の教育姿勢を明示するとともに、保護者・地域社会の願いを大切にしながら教育活動を行う。
- ⑤ 保護者・地域との連携を密にし、社会の要請も踏まえて、特色ある学校づくりを目指して教育活動を行う。

めざす学校像

- 一人ひとりを大切にする学校
- 学ぶ楽しさを感じる学校
- 信頼と活力に満ちた学校
- 安全で内外に開かれた学校

めざす教師像

- 子どもを中心に考える教師
- 思い遣りの心のある教師
- 厳しさと優しさで対応できる教師
- 師弟同行の精神を大切にする教師

学校経営の重点

- ① 児童の実態、保護者の願い、地域の特性、学習指導要領、新やまなしの教育振興プラン、山梨県学校教育指導重点、甲府市学校教育指導重点を考慮し、「生きる力」を育む教育課程の編成と実施に努める。
- ② 「確かな学力」の育成のための、一人一実践、一校一実践の充実に努めるとともに、教育活動全体を通じて、言語活動と読書活動の充実を図り、児童の思考力、判断力、表現力の育成に努める。
- ③ 教育活動全体を通じて、豊かな人間性を養い、生命を尊重する心や「思い遣る心」を育てるとともに、規範意識の醸成、自己肯定感の育成に努める。
- ④ 教育活動全体を通じて、体力の向上やがん教育・食教育に関する理解を深め、健康教育・安全教育を充実するとともに、基本的生活習慣の確立と、運動に親しむ環境づくりに努める。
- ⑤ 信頼される学校の実現を目指し、学校・保護者・地域社会が協力して児童の望ましい成長を支えていけるように努める。

よりよい学校教育環境

- ・施設、設備の安全管理と有効活用
- ・教室、校庭、体育館等の環境整備と安全確保
- ・学校防犯体制の確立と通学路の安全確保

地域の教育力の活用

- ・地域人材・施設の積極的活用

職員研修の充実

- ・教職員の資質や能力の向上を目指す校内研究の充実
『自ら考え判断し、実践できる児童の育成』
～道徳・自立活動を通して～
- ・積極的な研修会参加と還流報告
- ・教育のプロとしての責任と誇りを持ち、組織として力をつける。

評価と改善に努め、創意ある教育活動の推進と、特色ある学校づくりに努める。

- ① 教職員共通理解のもと教育活動の改善と充実に努める。
- ② 言語活動と読書活動の推進を図ると共に、理数教育、伝統や文化に関する教育、道徳教育、体験活動及び外国語活動の充実に努める。
- ③ 積極的に、小中連携や保幼小連携を進め、系統性、計画性のある教育活動に努める。
- ④ 将来に希望を持ち自分のよさを知るキャリア教育の充実に努める。
- ⑤ 家庭・関係機関と連携して特別な支援を要する児童、課題を抱える児童への支援を推進する。

「確かな学力」の育成を目指して学習指導を充実させる。

- ① 基礎的・基本的な内容の確実な定着に努める。
- ② 繰り返し指導、補充的・発展的な学習、習熟の程度や興味・関心の違いを考慮した、子ども一人一人の特性に応じた指導を行う。
- ③ 体験的な学習や探求活動を通して、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力を育てる。
- ④ 家庭との連携を図りながら、学校や家庭における学習習慣、読書習慣の確立に努める。
- ⑤ 道徳の時間を確保し、一貫性のある道徳教育の推進に努める。
- ⑥ 評価の結果を指導に生かすよう努める。

一人一人を大切に生徒指導と「思い遣る心」を育む教育の充実に努める。

- ① いじめや不登校の未然防止とともに、心の居場所となる学校・学級づくりに努める。
- ② 職員間の情報交換を密にして、チームとしての生徒指導に取り組む。
- ③ スクールカウンセラーと連携しながら、児童の実態を考慮したきめ細かな指導に努め、人間としてよりよく生きようとする力の育成に努める。
- ④ 家庭・地域と連携した情報モラル教育の推進に努める。
- ⑤ 豊かな心の育成の基礎となる交流活動や福祉活動の充実に努める。

健康・安全教育の充実と体力向上に努める。

- ① 発達段階を考慮しながら、学校教育全体を通じて、自他の健康と命の大切さについて学び、がん教育や食教育など健康教育の充実に努める。
- ② 生活の安全、交通安全、防災についての指導の充実を図り、自己管理能力の育成に努める。
- ③ 家庭と連携し、健康三原則（睡眠・食事・運動）の推進を図り、基本的生活習慣の確立に努める。
- ④ 新体力テストの結果を踏まえながら、業前体育・教科体育の充実に努める。
- ⑤ 休み時間や放課後等を有効利用し、運動や遊びの推進を図る。

信頼される学校を目指し、家庭・地域との連携を大切にする。

- ① 授業参観、学校開放日を設定し、開かれた学校づくりに努める。
- ② 学校評価に基づく指導体制の工夫・改善とその公表に努める。
- ③ ゲストティーチャーや教育ボランティアの積極的活用を努める。
- ④ 児童の安全のために、地域と連携し安全管理体制の充実に努める。
- ⑤ 安全で安心して学習できるように、安全教育（防災訓練・防犯教室等）の推進と安全確保の徹底を図るとともに個人情報の確実な管理に努める。